

南巢子自治会

いきいきサロン

いきいきサロンは、高齢者のみに限らず、3町内会の交流の場となっており、在宅介護についての出前講座や、スイカ割り・スカットボール大会などの世代間交流や、クリスマス会・文化祭などのイベントが行われている。また、実施している健康教室では、参加者に早めの通院を促したり、健康相談を行ったりしており、これらの活動により、参加者の健康を促進している。運営委員会には、福祉部の50～60歳代の方が参加し、高齢者の行動力の補助や、要望の推進を行っている。今後も、高齢者も自治会の一員であることをアピールしつつ参加者を募っていくことに励んでいく。



いきいきサロンでそば打ち

地域みんなで形づくる防災

南巢子自治会には、少年消防防火クラブがあり、小学生が主体となって参加し、40年間継続して夜回り活動を行っている。長年の活動が功を奏し、ここ40年間でボヤ騒ぎが2回しか起きておらず、火災被害については一切報告されていない。

少年消防防火クラブの活動は、東京消防庁から表彰されており、これは少年消防防火クラブの活動が莫大な功績であることを証明している。これらの功績は、南巢子自治会が誇る財産である。また、その他の防災活動として、全員参加の避難訓練がある。避難訓練は、市役所の防災防犯課と消防に協力を要請して行っている。また、立地の問題で避難場所に乏しいため、「森林総合研究所」と

市が協定を結ぶ際の仲介をしており、これにより万が一の際の避難場所を確保している。

スクールガード はじまりの地

南巢子自治会は、市内におけるスクールガードの立ち上げに大きく貢献している。

事の発端は、全国各地で児童殺害事件があり、近隣市町村においても、連れ去り未遂や不審者の事案などが多く発生し、連日報道されていた平成16年頃。地域のある民生児童委員の方との雑談の中で「我々民生児童委員で何か協力できることはないのだろうか？」という話が上がり、滝沢第二小学校の校長先生に持ちかけた。これにより、すぐさま学校と民生児童委員・少年補導員による会議が開かれ、現在のスクールガードの形態が確立されることとなった。南巢子自治会は、滝沢市におけるスクールガード立ち上げのきっかけを作っており、現在もスクールガードによって、子どもたちの平穏が保たれていることで、当時の取り組みが地域貢献につながったと感じている。

今後の展望

今後、今まで無かった集会所ができることにより、災害時のよりどころが増え、さらに、今まで以上に多彩な事業を行うことが可能になる。そのため、いきいきサロンにて世代間交流がしやすくなるなど、達成しづらかった目標が達成可能になっていくのではないかと考えられる。



左から山下金吾氏(自治会長)、中村サツ氏(いきいきサロン事務局長)、澁谷文人氏(前会長)、佐藤惇郎氏(元滝二小スクールガード長)、取材時撮影